

令和7年度オグレスビー氏産業開発基金 奨学金交付式

令和7年11月25日(火)当財団事務所にて、今年度のオグレスビー氏産業開発基金奨学金交付式(宮古工業高等学校からオンライン参加)が行われました。オグレスビー氏奨学金とは、沖縄産業の恩人と言われた故・サムエル・C・オグレスビーの長年の功績を記念するため工業関係有志の浄財により設立された「オグレスビー氏産業開発基金」の一部を財源とし、次世代を担う優秀な県内工業高校生へ交付される奨学金です。

今年度は南部工業高等学校 建築設備科の伊敷 元武(いしき もとむ)さん、宮古工業高等学校 電気情報科の伊計 海星(いけい かいせい)さんが奨学生として選ばされました。南部工業高等学校の伊敷さんは現在2年生で、建築設備は「人間が生活する環境」であるため「社会全体の発展に不可欠」だと考え、多くの資格取得に向けて励んでいることです。これまでに既に「三級配管技能士」「第二種電気工事士」の資格を取得しており、3年次に進級後もさらに多くの資格を取得したいとの抱負を披露しました。宮古工業高等学校の伊計さんは来年卒業を控えた3年生で、未知数の発展の可能性があるAIの分野に魅力を感じていることで、将来はAIエンジニアとして「社会に役立つ技術を生み出す」ことを目標とし、大阪の専門学校へ進学する予定であることをオンラインの画面越しにお話しされました。

それぞれ校長先生の隣に着座し、交付式開始直後は緊張した面持ちのお二人でしたが、当奨学金の出資者である沖縄県工業連合会の古波津会長のお話に耳を傾けたり、沖縄県工業教育研究会(沖縄工業高等学校長)の外間会長から質問を受けたりするうちに表情もほぐれ、学ぶことの楽しさや将来の目標について目を輝かせてお話をされました。伊敷さんと伊計さん、それぞれの目標に向けてがんばってください！

贈呈式記念写真 当財団にて

贈呈式記念写真 宮古工業高校にて



左から宮古工業高等学校の伊計 海星さん(電気情報科 3年生)、
校長 喜納 兼信氏)

前列左から沖縄県工業連合会長 古波津 昇氏、南部工業高等学校の伊敷 元武さん(建築設備科 2年生)、当財団理事長 上江洲 隆
後列左から、沖縄県工業教育研究会長(沖縄工業高等学校長) 外間 昌繁氏、南部工業高等学校長 下地 二夫氏